

令和8年度 全国学力・学習状況調査の結果について

大台町教育委員会

令和8年4月23日に、小学校第6学年及び中学校第3学年を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果の概要について、以下の通りまとめました。

結果の公表については、保護者・地域の皆様に学校教育と家庭教育についてのご理解・ご協力を得ることが何よりも大切であると考え、教科に関する結果、学力の背景となっている児童・生徒質問紙調査から見られた本町の児童・生徒の好ましい傾向と教育課題、そして今後の取組についてお示しさせていただきます。

教科に関する調査結果の概要

教科に関する調査は、中学校では国語・数学・理科の3教科で実施され、大台町立中学校第3学年の生徒54名が参加しました。調査結果については、中学校では国語・数学において、全国平均正答率より低い傾向にありました。

以下に、調査結果から「おおむね理解している問題」と「課題がみられた問題」についてまとめました。

【中学校 国語】

＜おおむね理解している問題＞

- ◇互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめることができるかどうかをみる。
- ・条件1と2にしたがって実際に話すように書きなさい。

[2四] (正答率：約6割)

＜課題がみられた問題＞

- ◆文章の中心的な部分と付加的な部分について叙述を基に捉えることができるかどうか。
- ・文章全体を三つに分けて整理したものとして、適切なものを選択する。

[4一] (正答率：約5割)

大問4一

林さんは、擬音語（擬声語）・擬態語に興味をもち、次の文章を読んでいます。
林さんは文章全体を三つに分けてノートに整理しています。整理したものとして最も適切なものを、次の1から4までの中から選びなさい。

正答率：52.5%
全国平均正答率より－19.1%

「R8全国学力学習状況調査 中学校国語」より

3

7	6	5	4	3	2	1
筆者の分析と考察			多様な例の紹介		話題の提示	

1

7	6	5	4	3	2	1
筆者の分析と考察			多様な例の紹介		話題の提示	

4

7	6	5	4	3	2	1
筆者の分析と考察			多様な例の紹介		話題の提示	

2

7	6	5	4	3	2	1
筆者の分析と考察			多様な例の紹介		話題の提示	

— 林さんは、文章全体を三つに分けてノートに整理しています。整理したものとして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

段落

段落の役割

課題がみられた問題

解答の分析

正答例 〈52.5%〉	文章の中心的部分と付加的部分について叙述を基に捉えることができている。
誤答例 〈47.5%〉	「思いつくままの例を見ただけでも」「たとえば」「『ぽつり』という語から」といった叙述から6段落も「多様な例の紹介」であると誤って捉えている。

＜今後の学習の手立て＞
「文章の中心的部分と付加的部分について叙述を基に捉える」

- ・段落ごとに内容を捉える。
- ・段落の文章全体の役割を捉える。
- ・キーワードやキーセンテンスなどに留意して情報を整理する。
- ・段落と段落をつなぐ接続詞などを考え、段落同士の関係を捉える。

【中学校 数学】

＜おおむね理解している問題＞

◇2 直線が平行になるための条件を理解しているかどうかをみる。

- ・四角形 PQRS において、PS 平行 QR を示すための根拠となる二つの角を書く。

[3] (正答率：約5割)

＜課題がみられた問題＞

◆確率を求める問題

- ・大小二つのさいころを同時に投げるとき、大きいさいころの目が6で小さいさいころの目が1である確率を求める。

[5] (正答率：約3割)

◆与えられた情報から必要な情報を適切に読み取ることができるか。

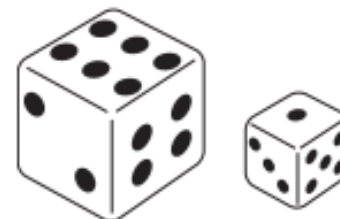
- ・動画の時間とデータ量の関係を表すグラフにおいて、点Cの座標をかく。

[7 (1)] (正答率：約6割)

大問5

大小2つのさいころがあります。この2つのさいころを同時に投げるとき、大きいさいころの目が6であり、小さいさいころの目が1である確率を異求めなさい。ただし、どちらのさいころも1から6までの目の出方は、同様に確からしいものとします。

- 5 大小2つのさいころがあります。この2つのさいころを同時に投げるとき、大きいさいころの目が6であり、小さいさいころの目が1である確率を求めなさい。ただし、どちらのさいころも1から6までの目の出方は、同様に確からしいものとします。



正答率：30.8%

無回答率：5.1%

解答の分析

正答	・ $1/36$	
誤答	・ $1/18$ ・ $1/21$ ・ $1/12$ ・ $1/6$	・ 目の出方が全部で36通りであることが捉えられていない。 ・ 一つのさいころの目の出方が6通りであることから、大小2つのさいころを同時に投げたときの、目の出方を全部で 6×2 の12通りであると捉えている。 ・ 大きいさいころの目が6、小さいさいころの目が6となる場合の2通りを考えた。

<今後の学習の手立て>

- 樹形図や二次元の表などを利用して起こり得る全ての場合を数え上げ、確率を求めることができるようにする。
 - ・ 起こり得る全ての場合を数え上げ、それを基にして確率を求めることができるように指導する。
 - ・ 起こり得る場合を数え上げることの必要性を理解できるようにすること。
- 確率を用いて不確定な事象の起こりやすさの傾向を捉え判断できるようにする。
 - ・ 直感的な予想と確率を用いて考察し判断したことを比較することを通して、確率を用いることのよさを実感できるようにすること。

生徒質問紙調査からみられた子どもの姿より 大台町の子どもたち

学校に行くのは
楽しい。

84%

(全国85.8%)

将来の夢や目標を
持っていますか。

68%

(全国67.6%)

人の役に立つ人間
になりたいと思う。

98%

(全国96.1%)

自分には
よいところがある。

78%

(全国84.2%)

人が困っている時
は、進んで助けてい
る。

94%

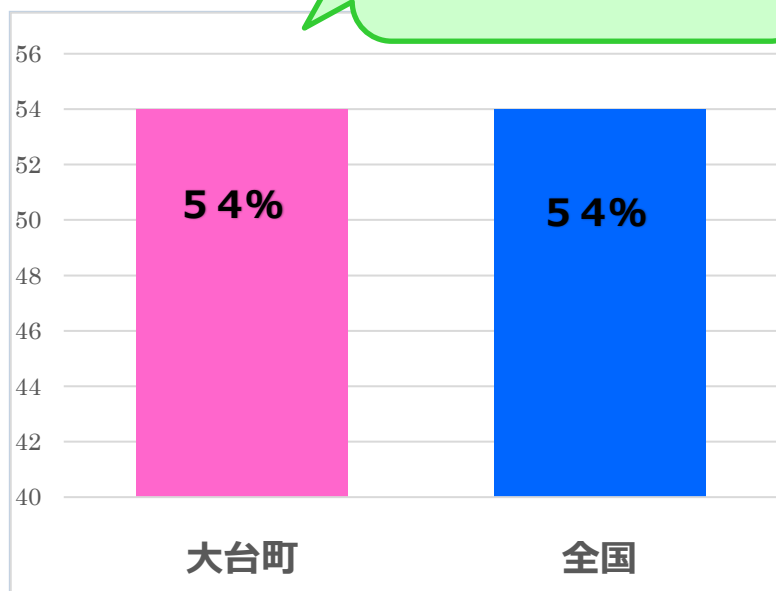
(全国91.4%)

生徒質問紙調査からは、多くの子どもたちが「学校に行く楽しさ」「自分自身のこと」「自分と周りの人のこと」を、意欲的に考えている姿があります。9年間を見通した人権学習、豊かな自然環境を生かした体験活動をはじめ、学校教育活動全体を通じて子どもたちの豊かな心をはぐくむ取組を進めてきた成果であるといえます。今後もさらに、子どもたち一人ひとりのよさを認めたり、達成感を味わわせたりする教育活動を進め、子どもたちが将来に、夢や希望を持ち、大台町で育った生きる力を基にその実現に向かって進んでいけるよう努めていきます。大台町の子どもたちは、保護者や地域の皆様に支えられ成長しています。今後も、保護者や地域と連携しながら、大台町の魅力ある学校づくりを進めていきます。

Q 学校の授業時間以外に、普段1日当たりどれくらいの時間、勉強をしていますか

授業以外で1時間以上勉強をしていると回答した児童の割合は、全国と比べて同じでした。

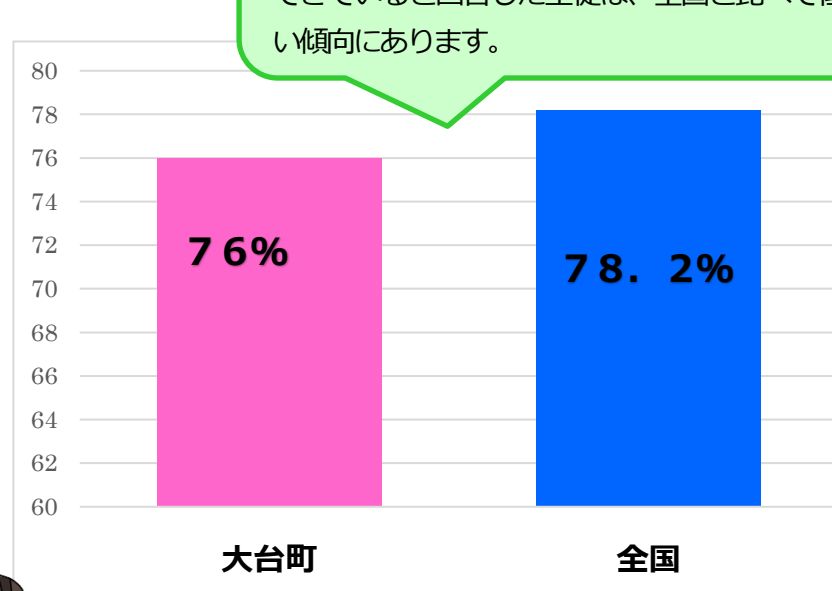
【表1】



Q わからないことやくわしく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか

わからないことやくわしく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え工夫することができていると回答した生徒は、全国と比べて低い傾向にあります。

【表2】



家庭で自主的に学習する習慣を身につけましょう

【表 1】からわかる通り、「授業以外で 1 時間以上勉強をしている」と回答した生徒の割合は、54%で全国平均と同じでした。半数以上は家庭で学習する習慣が定着しているといえます。また、【表 2】からわかる通り、「わからないことやくわしく知りたいことがあったときに自分で学び方を考え工夫することができている」と回答した生徒の割合は、76%で全国平均と比べて低い傾向はありますが、約 7 割強の児童が肯定的に回答しています。また、肯定的に回答した生徒ほど国語・数学の正答率が高い傾向にありました。

授業の中でも自ら考え、仲間と対話しながら課題解決を図る授業づくりを進めています。時間がかかっても自ら試行錯誤しながら解決したことは、子どもたちの力となっていきます。家庭においても引き続き、子どもたちが自ら学習を進められるよう励ましの声かけや集中して取り組める環境づくりにご協力をお願いします。

地域、保護者のみなさまへ

大台町では、学校と教育委員会が一体となって、子どもたちの「確かな学力」「豊かな心」の育成を目指して取り組んでいます。学力向上の中心となるのは、「授業づくり」です。本調査の結果を学校と共有し、子どもたちが「共に学ぶ喜び」「わかる面白さ」を実感できるよう日々授業改善を進めていきます。今後も、家庭、地域のご理解、ご協力をいただき、子どもたちの成長を支えていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願いいたします。